



園庭の芝生の上に少しだけ、雪が積もりました。冷たい風に鼻を赤らめながらも、雪を踏んで感触を楽しみ、手で触って冷たさを感じていた子どもたちです。この時期ならではの遊びをたくさん経験できたらいいなと思っています。

今年も残りわずかとなりました。長いお休みに入ります。体調管理に気を付け楽しいお休みをお過ごしください。今年もお世話になりました。来年もよろしくお願いたします。

ほめ上手になろう！

せっかくのほめるチャンスを逃していませんか？

ほめることの大切さはわかっているけど、実践するのはなかなか難しいです。コツは「普通にしているとき、こまめにほめる」ことです。

良い例



ワンポイントアドバイス

1回叱ったら、3回ほめる努力を！

ほめることが大事だといっても、子どもが甘えてやる気が感じられないときは、ピシッと叱ることも必要です。ただし、叱ったあとに適切な行動をとったら必ずほめることをお忘れなく。現在「叱る」がほぼ10割で「ほめる」がゼロの家庭は、少しずつほめる割合を増やしていきましょう。

親の指示を行動に移せたらすぐにほめ、その行動が続いていたら、またほめる。この方法なら一つの行動で2回以上ほめることができます。

魔法の言葉がけ

ASD 発達アドバイザー Shizu

監修 平岩幹男 医学博士

悪い例

